

【大会規定】

第14回全日本大学女子硬式野球選手権大会（以下、本大会）は、2024年度公認野球規則、アマチュア野球内規（2024）、2024年度全日本女子野球内規、2024年度全日本女子野球連盟大会規則・スピードアップ・マナーアップ要項、全日本女子野球連盟用具規定に準じ、次に定める特別規則を定める。

1. 試合球は、公認硬式用試合球（mizuno）を使用する。
2. 大会形式は、参加大学15チームを抽選によって4グループに分け、予選リーグを行い、勝敗によって順位を決定する。各グループの上位2チーム、全8チームで決勝トーナメントを行い、優勝を決定する。

なお、リーグ戦で順位が同じになった場合は以下の順で順位を決定する。

- ①直接対戦の勝者を上位
- ②下記に定めるポイント制によるポイントが多いチームが上位
- ③総失点が小さいチームを上位
- ④得失点率差が大きいチームを上位
- ⑤チーム自責点率が小さいチームを上位
- ⑥チーム打率が高いチームを上位
- ⑦抽選（コイントス）

勝敗	内容	ポイント
勝ち	コールド勝ち	4
	勝ち	4
負け	負け	-4
	コールド負け	-5
引き分け		0

※ポイント制に定義するコールドの勝敗は、点差によるコールドゲームのみとする。

定義

- ・総失点＝リーグ戦失点数の合計
- ・得点率＝総得点／総攻撃イニング数
- ・失点率＝総失点／総守備イニング数
- ・得失点率差＝得点率－失点率
- ・チーム自責点率＝総チーム自責点／総守備イニング数
- ・チーム打率＝安打数／打数

3. 試合は7回（イニング制）とし、7回を終了時点で同点の場合、リーグ戦は引き分けとする。決勝トーナメントは「特別延長戦」に移行し、勝敗を決するものとする。ただし、決勝戦に限り、9回までの延長戦を行い、10回から「特別延長戦」を適用し勝敗を決するものとする。
4. 試合は5回終了にて成立。降雨等の理由により試合継続が困難となった場合、5回に達していない場合は審判団と主催者が協議してノーゲームまたはサスペンデッドゲームを決定する。
5. 5回終了時点で、7点以上の得点差がある場合はコールドゲームを適用する。決勝戦に限りコールドゲームは適用しない。
6. 審判員について、本大会予選リーグは2人制とし、本大会決勝トーナメントは3人制で行う。ただし、決勝トーナメントの決勝戦は4人制とする。
7. その他の競技規程は、特に問題が生じた場合には審判団と主催者が協議して決定する。
8. 雨天などによりグラウンド状況が不良の場合は、主催者の判断で試合スケジュールを変更する場合がある。

【運営に関する規約】

1. メンバー表の交換、先攻／後攻の決定は、第1試合は開始40分前、第2試合以降は前試合の3回終了後に大会本部にて行う。
2. メンバー表の交換後は、如何なる理由があろうとその変更は認めない。
3. 背番号は算用数字で0番から99番とし、その着用之际し特に規定・制限は設けない。
4. 選手登録並びに、試合中ベンチに入れる人員は次の通りとする。
本大会のベンチに入れる人数は、大会出場チーム登録名簿に記載された役員（監督・コーチ・トレーナー・マネージャー他）5名まで、競技者（選手）25名の30名以内とする。
5. 試合中のベンチに持ち入れられる用具は、野球用具、作戦ボード、給水タンクなど競技に関わる物のみとし、記録カメラなどの競技に関わらない用具・用品の持ち入れを禁止する。ただしデジタルスコアブックなどを使用するために持ち込むデバイスについては、事前に大会本部に届け出を行う。
6. 登録名簿の変更は大会前日（8月19日17:00）まで認める。未登録選手の出場が明らかになった場合には没収試合とする。
7. 試合前のシートノックは後攻チームから行い、ボール回しを含めて7分間とする。ノッカーも必ずユニフォームを着用すること。同日に複数試合を行う場合は事前の申告によりシートノックを省略することができる。その他、グラウンドコンディションによりシートノックを省略する場合がある。
8. 試合中のボール回しは試合の進行状況により省略する場合がある。
9. 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合の開始を早める場合がある。またその逆に、前の試合が延長された場合、次の試合の開始を遅らせる場合がある。
10. 次の試合の開始時刻の目安は、前の試合終了から20分後にシートノックを開始し、シートノック開始から30分後を試合開始の目安とする。
11. 特別の事由なく、試合開始時刻になっても会場に来ないチームは棄権（不戦敗●0－7）とみなす。